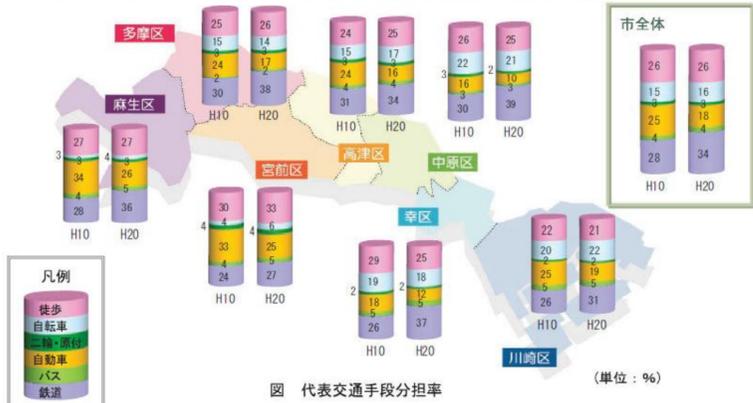


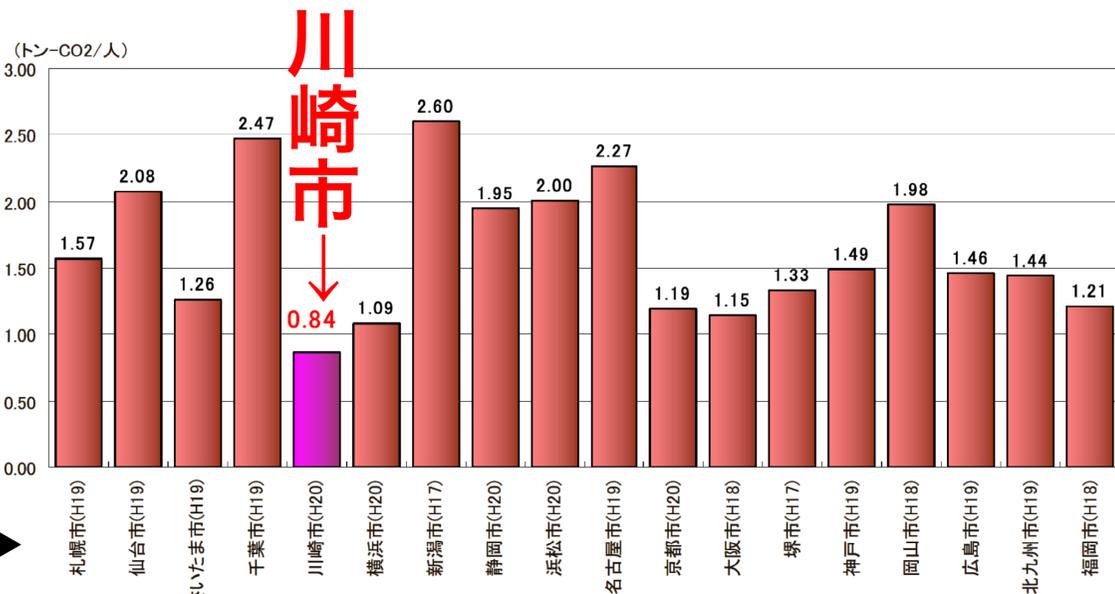
# 毎日の生活に欠かせない地域交通から 低炭素都市を実現するために

代表交通手段分担率 ~鉄道の利用割合が増加 自転車の利用割合が減少~

- ・市全域で、鉄道の利用割合が増加し、自転車の利用割合が減少しています。
- ・地域別では、幸区や中原区、多摩区、麻生区で鉄道の利用割合が大きく増加しています。



川崎市内の旅客交通手段の分担率は  
徒歩・自転車・電車・バスを合わせて80%!

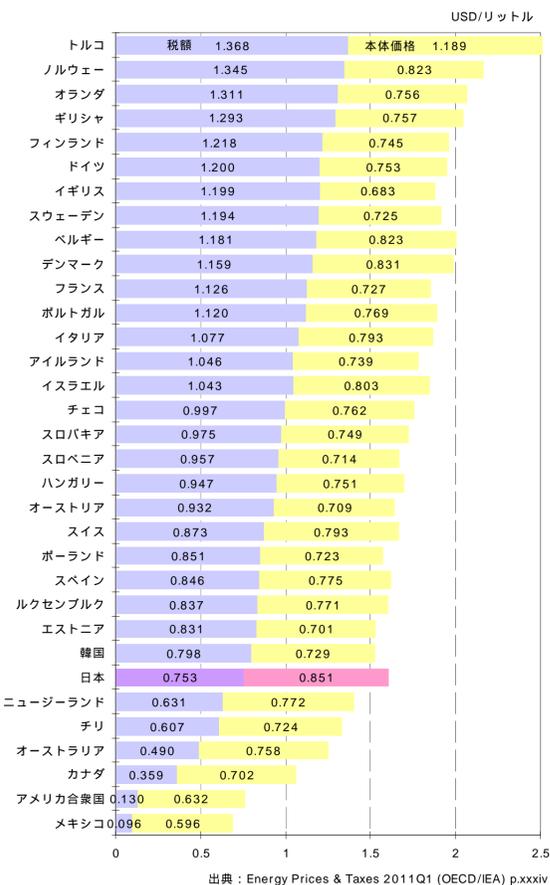


市民の選択により、川崎市は1人あたり  
CO2排出量の最も少ない政令市になった

図 運輸部門における一人当たり二酸化炭素排出量の政令都市間での比較

## 人と環境にやさしい交通手段がもっと 安全・快適・便利なまちにしたい!

ガソリンの本体価格と税額 (2010年第4四半期、税額順)

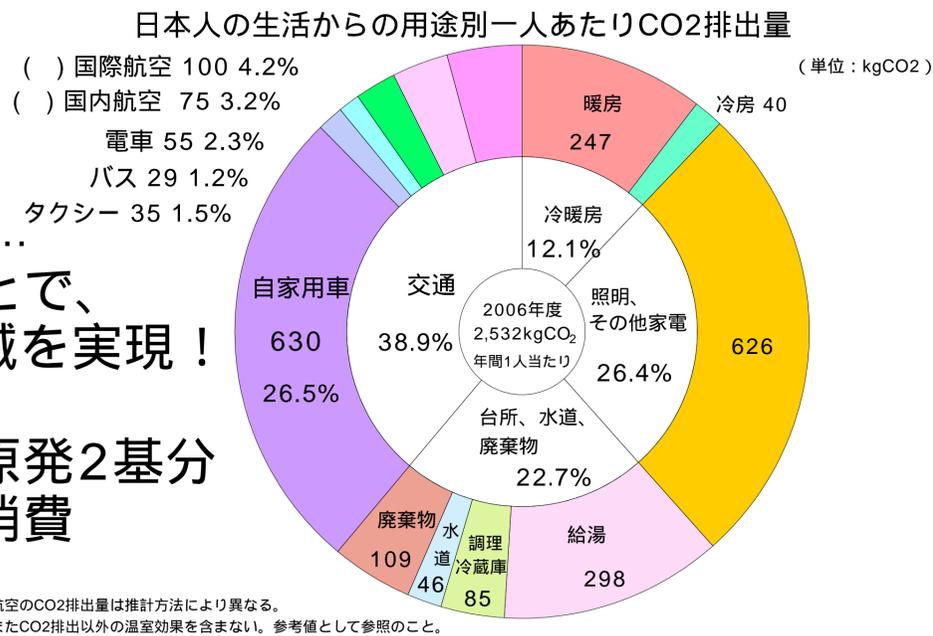


例えば安すぎるガソリン価格など政策面の障害もあるため、連携して  
公共交通や自転車が便利になるような政策提言にも取り組んでいます。

市民がすぐにできることは...  
クルマ以外を選ぶことで、  
家庭のCO<sub>2</sub> 25%削減を実現!

自家用乗用車だけで原発2基分  
相当のエネルギーを消費

平成20年度の自家用乗用車のエネルギー消費量、  
原子力発電所 1GWh級 稼働率7割程度で計算



日本の自動車利用にかかる税は、先進工業国と比べ極めて安く優遇  
日本のガソリン税はOECD諸国の中でも割安水準。しかも他国はガソリン税収を公共交通や自転車  
利用促進などに使っていますが、日本では自動車からの税収のほとんどが、自動車が走るための道  
路の「改良」にばかり注ぎ込まれ続けてきました。しかし、川崎市内では8割の人が徒歩、自転車  
や電車・バスでの移動を選んでいる現在、税金の使い方も変えていく必要がありそうです。

私たちは、人と環境にやさしい交通手段が優先されるまちづくりを  
通じて、いつまでも安心して住み続けられる地域にするために、  
情報提供や政策提言などの様々な活動に取り組んでいます。

本会の取り組みにご参加・ご支援ください!

<http://sltc.jp/support>

地域交通の安心・快適と環境配慮をすすめる政策提案型市民活動  
持続可能な地域交通を考える会  
Sustainable Local Transit committee, Kawasaki Japan.



定例会は毎月第2 木曜日夜に開催  
ホームページと twitter 発信中  
@sltcjp をフォロー!

